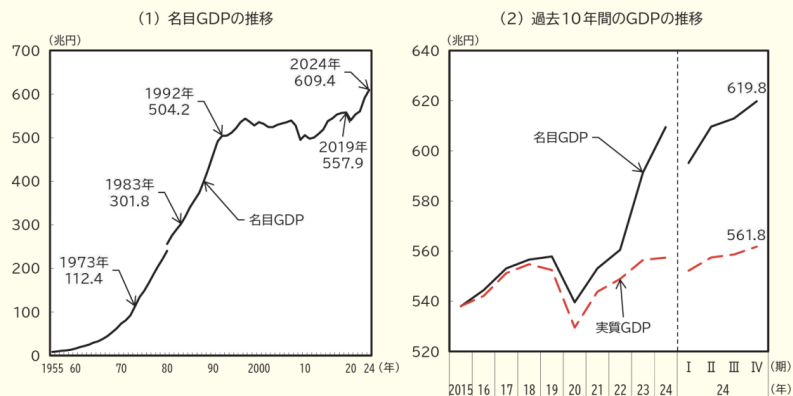


第1-(1)-1図 GDPの推移

○ 名目GDPは初めて600兆円を超え、実質GDPは4年連続プラス成長。



資料出所 内閣府「国民経済計算」(2025年1-3月期2次速報時点)をもとに厚生労働省政策統括官付政策統括室にて作成

(注) 1) 四半期データは季節調整値。
2) (1)について、1979年以前は1990年基準(1968 SNA)の数値、1980~1993年は2015年基準(2008 SNA)簡易遷及系列の数値。

社会福祉概論

第3回 経済・労働の変化

15 lessons / 90 minutes each
course plan

clear

visual

simple

bilingual

*日本語がむずかしいときは、短いことばでも大丈夫です。キーワードだけでもいいです。英語を少し使っても大丈夫です。

Keyword

- 雇用 = employment
- 労働 = labor / work
- 収入 = income
- 失業 = unemployment
- 非正規雇用 = non-regular employment
- ワーキングプア = working poor
- ギグワーク = gig work
- ワークライフバランス = work-life balance
- サービス業 = service industry
- 短期雇用 = short-term employment
- 有期雇用 = fixed-term employment

前回のふりかえり

大切なポイント

- 日本では人口減少と少子高齢化が進んでいる
- 人口の変化は地域・経済・社会保障に影響する
- 人口の変化は社会福祉と深く関係する
- 今日は、この流れを「経済・労働」のテーマにつなげて考える

今回の流れ

労働環境の変化



1.雇用・労働の動向

2.雇用・労働の変化がもたらす影響

3.雇用・労働の対策と社会保障の課題

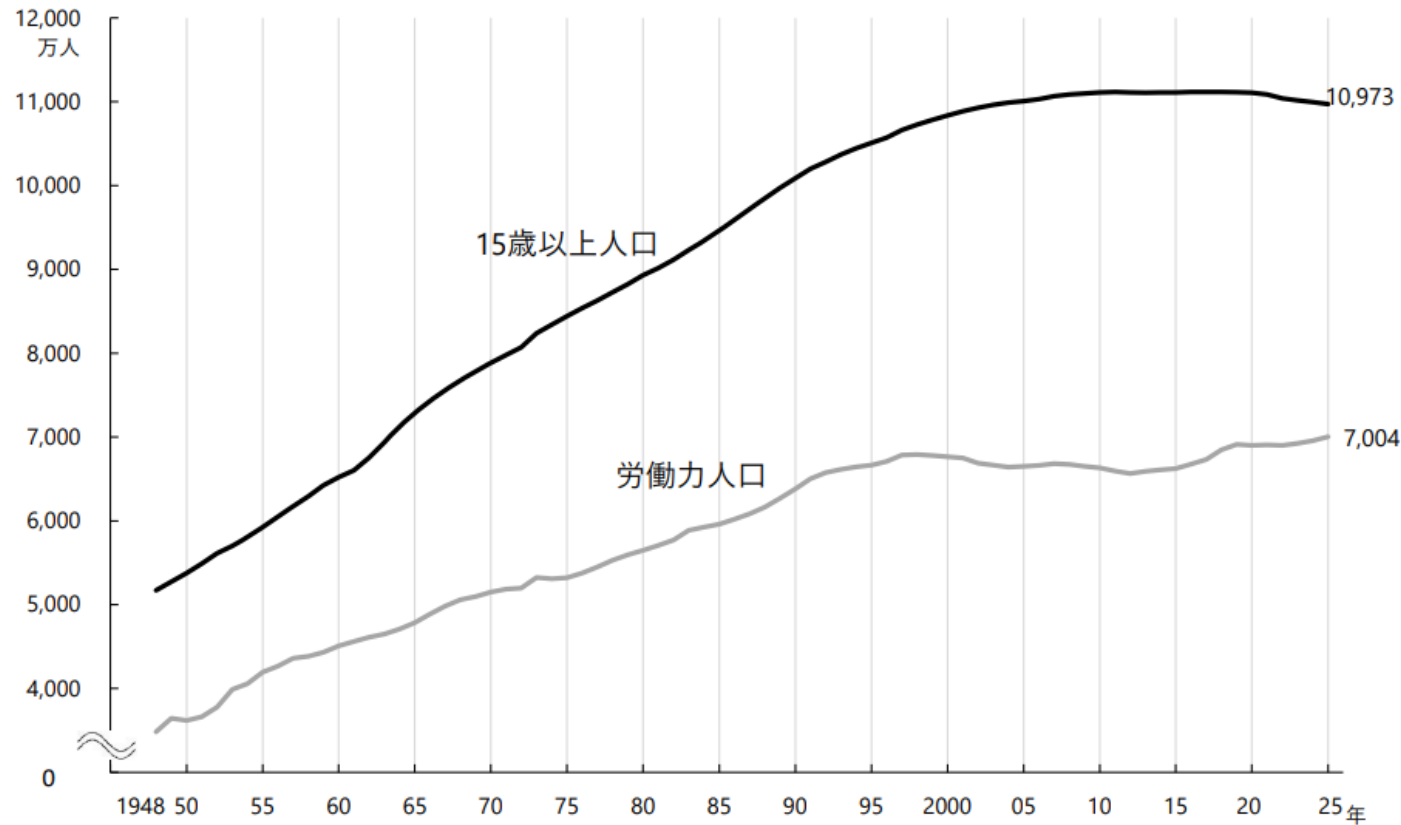
現代社会を変える3つの大きな力



社会保障の形を変えます

労働力状況の変化

図1 15歳以上人口、労働力人口 1948年～2025年 年平均

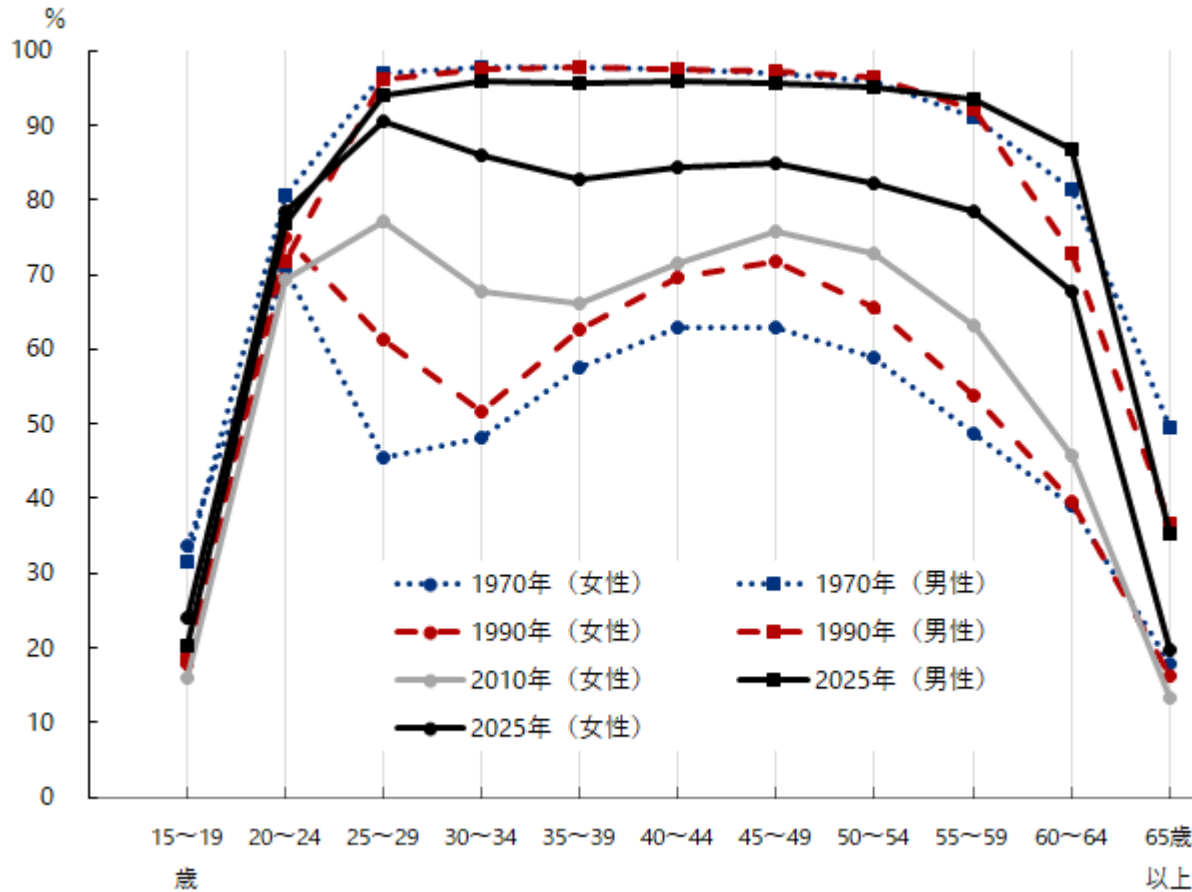


2026年時点の日本の労働力状況は、少子高齢化に伴う構造的な減少傾向の中で、女性や高齢者の労働参加が進み、労働力人口は7,000万人規模を維持・微増（2025年平均で7004万人、3年連続増加）している。

総務省統計局「労働力調査」

注：労働力人口の1952年以前は14歳以上人口のうちの該当する者

年齢階級別労働力率

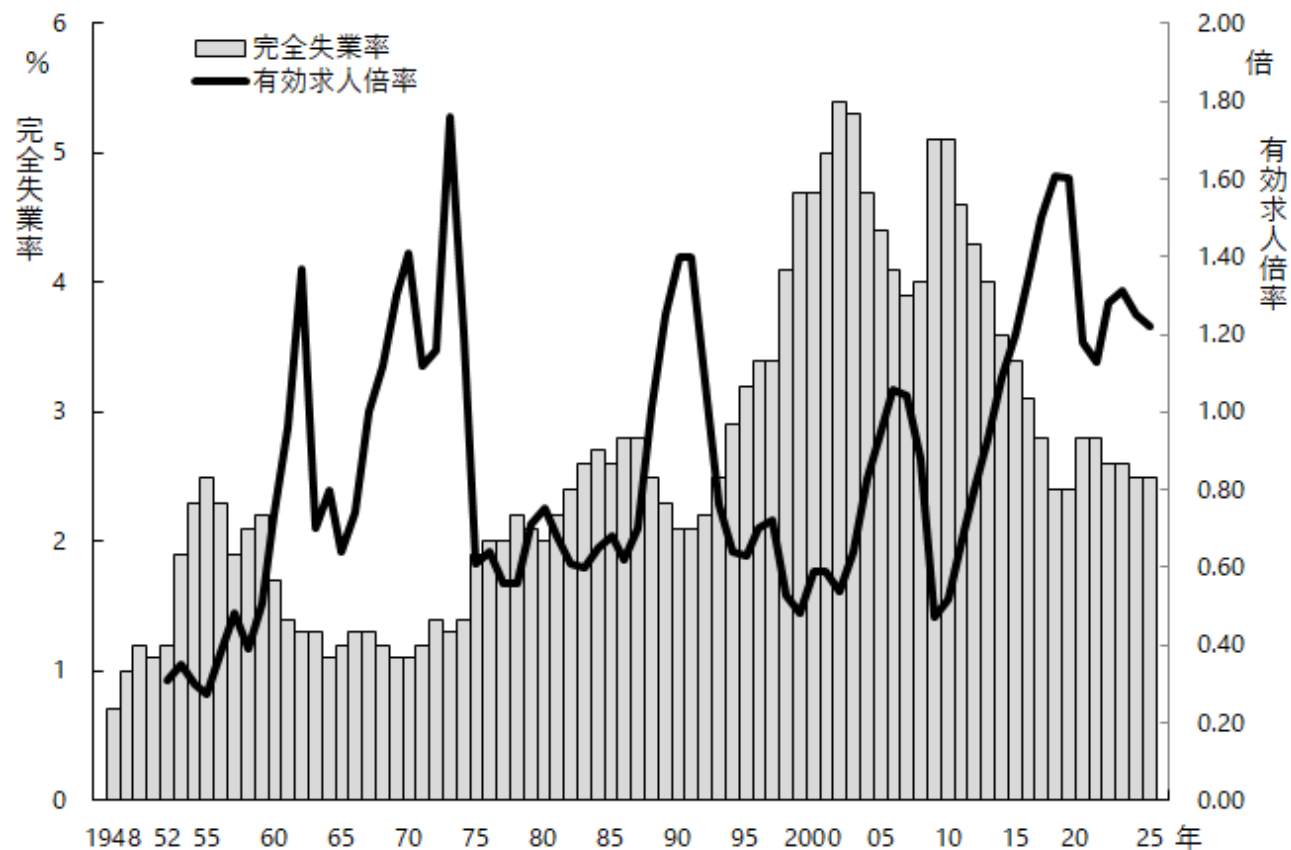


日本で結婚や出産に伴って離職する女性が多い様々な背景・理由について考えましょう

総務省統計局「労働力調査」

- M字カーブとは、女性の年齢別労働力率（働く人の割合）をグラフにした際、出産・育児期（30代）に労働力が低下し、子育てが落ち着く40代以降に再上昇してアルファベットの「M」の形を描く現象

失業の状況



有効求人倍率とは、ハローワークで仕事を探す人（求職者）1人に対し、企業から何件の求人があるかを示す、雇用動向の指標です。厚生労働省が毎月発表しており、1を上回ると人手不足（売り手市場）、下回ると職探しが困難（買い手市場）と判断されます

完全失業率とは、15歳以上の働く意欲のある人（労働力人口）のうち、仕事を探しても仕事に就くことのできない人（完全失業者）の割合。

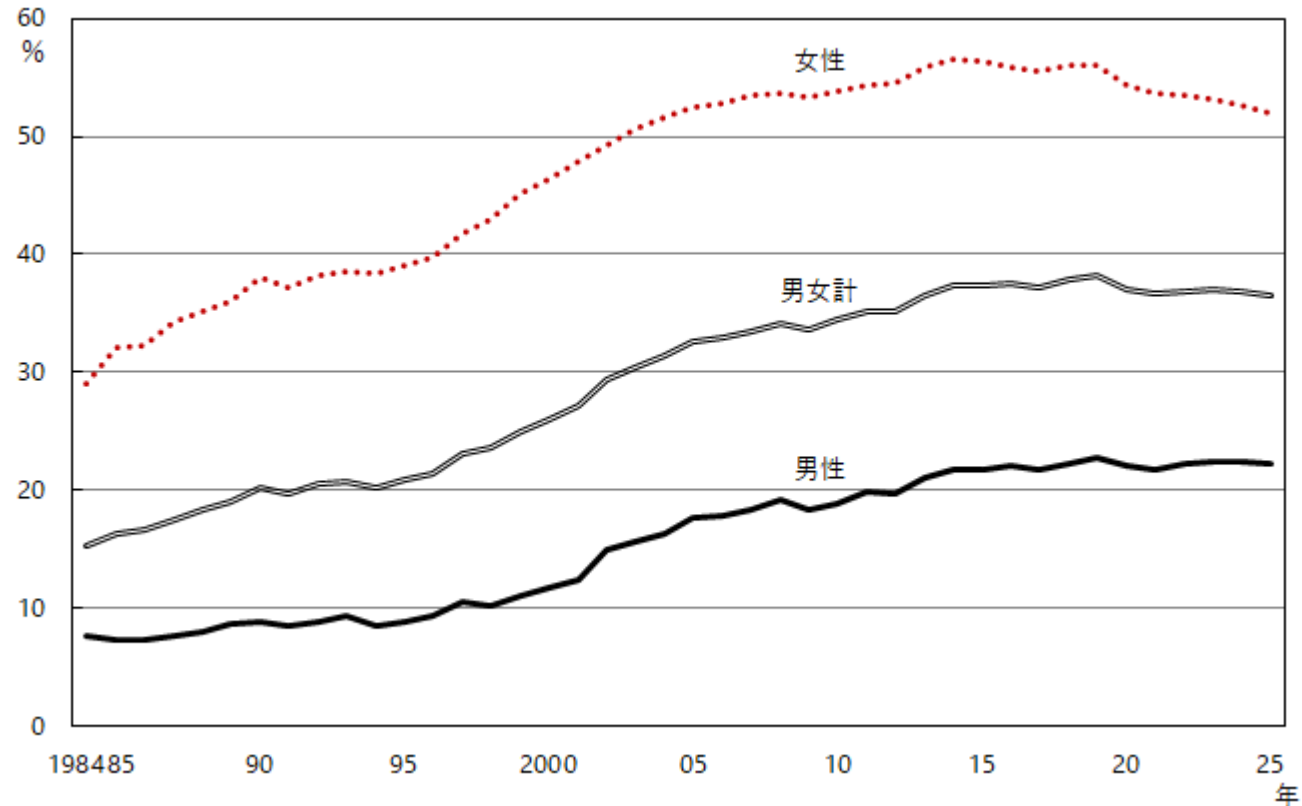
15歳以上人口

労働力人口（＝
従業者＋休業者
＋完全失業者）

非労働力人口
（学生＋主婦＋
高齢者など）

資料出所
総務省統計局「労働力調査」
厚生労働省「職業安定業務統計」
注：有効求人倍率の1962年以前は学卒（中卒、高卒）の求人、求職が含まれる。






雇用形態別雇用者数 非正規の職員・従業員割合 1984年～2025年



資料出所

2013年以降は総務省統計局「労働力調査」（基本集計、年平均）、2002年以降2012年までは同「労働力調査」（詳細集計、年平均）、2001年以前は同「労働力調査特別調査」（2月）

雇用の変化（正規と非正規雇用）

	正規 (Regular) 	非正規 (Non-Regular) 
 給料 (Salary)	↑ 高い ↑ (High)	↓ 低い ↓ (Low)
 安定 (Stability)	ずっと働ける (Stable/Lifetime)	首になりやすい (Unstable/Easily fired)
 割合 (Percentage)	約60%	約40% ⁺

働くの4割が非正規雇用です。貧困の要因の一つである。

議論

非正規雇用が貧困（ワーキングプア）に陥りやすい主な原因はなんだろうか。

2.雇用・労働の変化がもたらす影響

①サービス業の拡大

- 脱工業化→工業中心からサービス業中心へ、仕事の形が変わる

②雇用の流動化

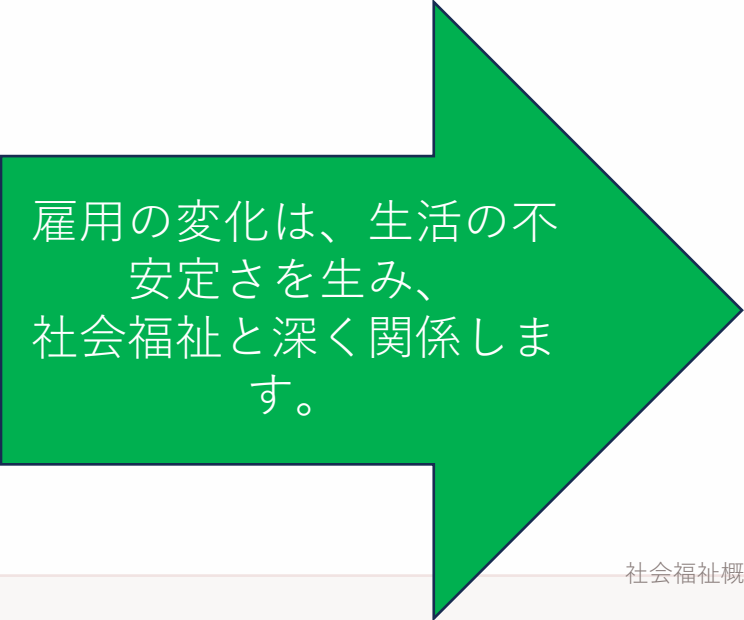
- 終身雇用と年功賃金といった「**日本的雇用システム**」が見直され、短期雇用・有期雇用を増えた

③「**ギグワーク**」問題

- 請負・単発の仕事が増える
- 収入が安定しにくい

④**ワーキングプア**問題 working poor

- 働いていても生活が苦しい



雇用の変化は、生活の不安定さを生み、社会福祉と深く関係します。

昔の働き方と今の働き方

昔の働き方

- 工場・建設・製造業が中心
- 長く同じ会社で働く人が多い
- 終身雇用・年功賃金が強い



今の働き方

- コンビニ・介護・飲食店・物流・観光・サービス
- 働き方が多様になっている
- 契約のある仕事・短い仕事も増えている

仕事の形が変わると、生活の安定のしかたも変わります。

ワーキングプアとフリーター



ワーキングプア (Working Poor)

働いているのに、生活保護の水準より貧しい人。 |
People who work but remain poorer (than the
welfare standard.



フリーター (Freeter)

15~34歳で、パートやアルバイトで生きる若者。
| Youth (15-34) living on part-time jobs.

このような働き方は、生活の不安定さにつながることがあります。

3.雇用・労働政策と社会保障の課題

①仕事を見つけるための支援＝ワークフェア政策

- ・ 就職を助ける政策：積極的労働市場政策（Active labour market policy）
- ・ 就職氷河期の課題→フリーター、ニート

②働きにくい人への支援

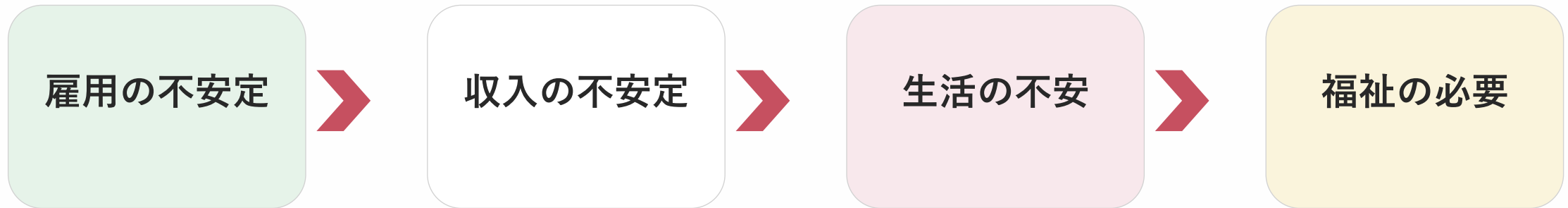
- ・ 障害者雇用促進法→差別禁止・合理的配慮の提供義務
- ・ 男女雇用機会均等法→性差別の禁止
- ・ 育児・介護と仕事の両立支援：育児・介護休業法

③これからの働き方

- ・ ワークライフバランス
- ・ 多様な働き方
- ・ ディーセント・ワーク

就職支援 = **job support**
障害者雇用 = **employment for persons with disabilities**
女性就業支援 = **support for women's employment**
ワークライフバランス = **work-life balance**
ディーセント・ワーク = **decent work**

雇用の不安定さが生活に与える影響



- お金・住む場所・子育て・病気・介護など、いろいろな困りごとが出てくる
- だから、雇用や労働の問題は福祉の問題とも深く関係する

社会保障が支えること

失業

仕事を失ったとき

病気

働けないとき

社会保障 = 生活を支える仕組み

子育て

子どもを育てるとき

高齢

介護や年金が必要なとき

まとめ

今日のまとめ

- 仕事の形は変化している
- 非正規雇用やギグワークが増えている
- 雇用が不安定だと生活も不安定になりやすい
- 働いていても生活が苦しい人がいる
- だから、雇用・労働の問題は社会福祉と深く関係している

ふりかえり

- 今日わかったこと
- むずかしかったこと
- 仕事と生活の関係で気づいたこと

まとめ

復習：5つの重要キーワード

Review: Top 5 Keywords



少子高齢化 (Shrinking & Aging Society)

Inter Medium

子供が減り、お年寄りが増えること。

Inter Medium



消滅可能性都市 (Vanishing Cities)

Inter Medium

将来なくなる危険がある町。

Inter Medium



貯蓄ゼロ (Zero Savings)

Inter Medium

貯金が全くない人が増えている。

Inter Medium



非正規雇用 (Non-Regular Employment)

Inter Medium

パートや派遣など、不安定な働き方 (約4割)。

Inter Medium



ワーキングプア (Working Poor)

Inter Medium

働いても生活が苦しい人。

Inter Medium